

特別支援マスター指標：

障害により教育上特別の支援を必要とする子どもへの対応について身に付けるべき資質を細かく示した。求められる資質能力や職種が異なる校長・副校長・教頭に分けて策定した。

○ 職種別の指標

②管理職（校長・副校長・教頭）

【令和5年7月版】

観点 キャリアステージ	副校長・教頭 キャリアの充実	校長 キャリアの完成
マネジメント力 (学校経営力、人材育成力)	学校経営計画の重点項目を具現化した特別支援教育の視点を取り入れた校内研修を推進し、評価と改善に導く具体的な指導ができる。	学校経営計画の重点項目に特別支援教育の視点を明示し、特別支援教育の資質向上を目指した実践的な校内研修や校内委員会を運営する。
	障害による困難さについて、確かな理解力と豊富な経験を生かし、就学も含めた適切な指導ができる。 各種教育施策や制度を正しく理解し、学校経営において活用する。	
連携推進力 (保護者、関係機関との連携を推進する行動力)	校内委員会の有機的な運営を推進し、できうる環境整備や合理的配慮を提案するとともに、相談窓口として保護者や関係機関との連携を一層推進する。	保護者や福祉機関、特別支援学校等とのつながりを密にした支援体制を構築し、組織強化の責務を果たす。
子供理解力 (観察やアセスメントに基づく実態把握)	多面的かつ適切な実態の把握と検査結果等の活用で、障害による困難さを理解し、支援の方向性等を助言できる。 個別の指導計画の作成状況を確認し、適宜妥当性を評価できる。	